資料３

【介護予防・日常生活支援総合事業　イメージ図】

【強化ポイント】
①住民主体の通いの場のさらなる充実
②支える人（担い手）が活躍できる環境づくり
③専門職による介護予防活動の支援体制の充実

高齢者自身が能力を最大限に活かして、できるだけ要介護状態にならないよう、地域でいきいきと暮らせる仕組みをつくる

高
〔元気〕
活動性〔心身機能〕
〔プレフレイル〕
〔フレイル〕
〔要支援〕
低

≪支える人が活躍できる環境づくり≫

◆地域活動実践者（リーダー）となり、活動を推進
・健康づくり推進員　・食生活改善推進員
・介護予防普及員　・食育アドバイザー　など

◆日常生活の支援
・福祉協力員（ふれあいネットワーク）
・介護支援ボランティア(介護施設)
・友愛訪問(老人クラブ)　など

◆就労
・企業
・シルバー人材センター
など

介護予防活動・日常生活をサポートする担い手

サポート　サポート

啓発教室

地域活動実践者の養成

◆介護予防に取り組むきっかけづくり
≪介護予防普及啓発≫
【介護予防教室の開催】
・筋力向上トレーニング啓発教室　・出張介護予防講座
・北九州市オリジナル介護予防教室（ひまわり太極拳、きたきゅう体操）
・公園で運動教室　・栄養ラボ　・高齢者栄養改善事業　・健康マイレージ
など

◆地域活動に移行するための準備
高齢者地域交流支援通所事業（市民センター）

◆自立支援・重度化防止
≪介護予防・生活支援サービス事業（通所・訪問）≫

【短期集中予防型 】
専門職（運動、栄養、口腔）による短期間の集中的な関与

【生活支援型 】
ミニデイサービス、訪問による家事支援

【予防給付型】
専門職による通所介護、訪問介護

地域活動へ

住民主体の通いの場

◆生きがい・健康づくり・介護予防活動を推進

≪自主グループ活動≫
・介護予防普及員による自主グループ活動
（ひまわり太極拳
きたきゅう体操
公園で健康づくり）
など

≪生涯学習活動≫
・ボランティア大学校
・生涯現役夢追塾
・年長者研修大学校
・老人クラブ
・高齢者いきがい活動推進
・NPOによる教室　など

≪民間・学校・社会福祉法人等の社会資源を利用する活動≫
・地域のスポーツ教室
・趣味の講座
など

≪地域単位で行う活動≫
・ふれあい昼食交流会
・地域でGO!GO!健康づくり事業
・健康づくり推進員による介護予防活動
・食生活改善推進員による介護予防活動
など

≪サロン活動≫
・高齢者サロン
・認知症カフェ
・薬局カフェ
・セルフヘルプグループ活動
・まちなか保健室　など

通いの場の活動がより効果的なものになるよう専門職が幅広く関与

※「通いの場」・・・高齢者が集い、交流することにより、健康づくり・介護予防に資する活動となっている場

適切なケアマネジメントによる自立支援

≪専門職による支援≫

◆質の高いケアマネジメントを実現できる環境づくり【専門職への支援(多職種連携)】
・地域包括支援センターによる包括的･継続的支援
・リハビリテーションに関する相談支援の実施

◆専門職(運動、栄養、口腔)によるアウトリーチ
【住民主体の介護予防活動への支援】
・サロンなど地域活動の場へ専門職を派遣
・介護予防運動の方法や健康(感染症含む)に関する講話を実施
・グループリーダーに対する相談支援

≪介護予防ケアマネジメントの実施≫

◆生活意欲の維持・向上
“参加”と“活動”を重視し、自立支援を図る
→地域の様々な通いの場へ、さらには支える側へ